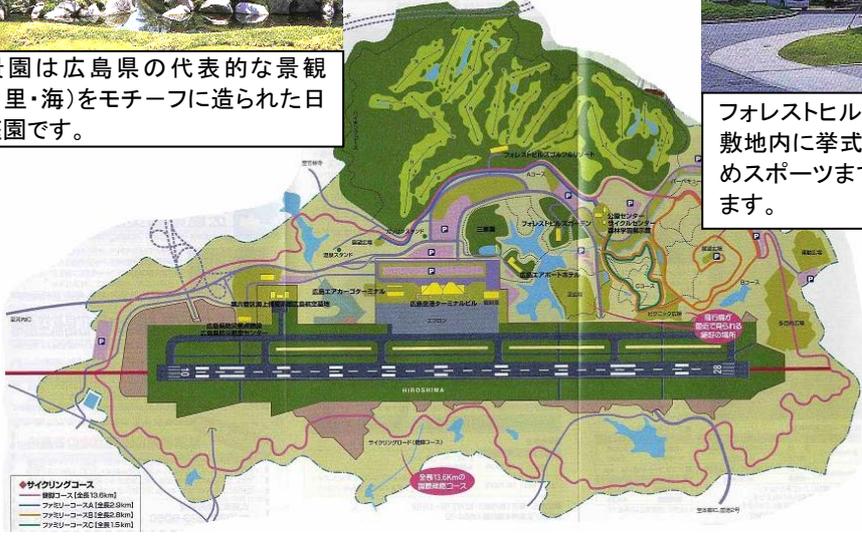


## 観光社会資本の事例

テーマ	自然と調和する空間 ～庭園空港～
【施設の状況写真】	
	
<p>三景園は広島県の代表的な景観(山・里・海)をモチーフに造られた日本庭園です。</p>	<p>フォレストヒルズガーデンは広島空港に隣接する敷地内に挙式・パーティや会議・宿泊・食事をはじめスポーツまで幅広く対応できる施設が揃っています。</p>
 <p>◆サイクリングコース ●緑コース(全長13.0km) ●ファミリーコース-A(全長2.0km) ●ファミリーコース-B(全長2.0km) ●ファミリーコース-C(全長1.5km)</p> <p>全長13.0kmの国際規格コース</p>	
【施設の利用写真】	
	
<p>サイクリングロードは空港を取り囲む全長 13km の国際規格コースになっており、各種大会が開催されています。また、子供から大人まで楽しめるレンタサイクルを備えており、森を走る変化に富んだコースを楽しめます。</p>	<p>ピクニック広場では、飛行機を間近で見ることができ多くの人が離着陸の大迫力を味わっています。</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>広島空港は、3,000m滑走路をはじめ充実した施設が整備され、中国四国地方の地域拠点空港として、地域の振興と国際化に大きな役割を担っています。</p> <p>周辺地域は、広島の空の玄関にふさわしい賑わいづくりをめざし、県立中央森林公園や、ホテル・ゴルフ場などの施設が整備されています。県立中央森林公園では、広島県中央部の大規模な野外レクリエーション施設として、空港周辺の約267ヘクタールを整備し、公園内には日本庭園「三景園」やコンベンション施設「フォレストヒルズガーデン」、アジア競技大会の自転車競技の会場となったサイクリングロードなどの施設が整備されており、年間約29万人が利用しています。</p>	

テーマ 自然と調和する空間 ～庭園空港～

【社会資本の基礎データ】

- 名称 広島空港
- 所在地 広島県三原市本郷町善入寺 64-34
- 事業名 新広島空港整備事業 新広島空港3000m化事業 計器着陸装置高度化事業
- 事業主体 国土交通省 国土交通省 国土交通省
- 事業期間 昭和61年～平成5年 平成8年～平成13年 平成15年～20年(予定)

【社会資本の役割・効果】

広島空港は、航空輸送の増大と航空機の大型化に対応するとともに、広島地域における国内外との経済・文化交流の促進に資するため、長さ2,500mの滑走路を有する新空港として、平成5年10月に供用を開始しました。

その後、利用者の順調な増加とともに、さらなる機能の向上を図るため、長距離国際線の就航が可能な滑走路3,000mの延長事業に着手し、平成13年1月に供用が開始されました。

平成17年4月現在の就航路線は、全国で第5位の利用客数である東京線をはじめとする5路線の国内線と、4月7日に就航したグアム線を含む6路線の国際線があり、開港以来の総利用客数は、平成17年3月末現在約3,485万人に達するなど、中国四国地方の地域拠点空港として重要な役割を担っています。

【位置図】



空港アクセスバスのご案内

※1 時間はおよその乗車時間です。(乗継時間等は含まれておりません。)  
※2 □は高坂BSで乗継



問い合わせ先  
広島電鉄/082-231-5171 呉市交通局/0823-25-6723 中国バス/084-953-5391 新幹線/084-952-3700 安全タクシー/0846-22-0842 芸播バス/0824-24-4701

【関連ホームページ】 <http://www.hij.airport.jp/>